

ハイドロキャップ®

簡易マニュアル

合同会社ハイケアー灯

実用第3203575号

ご使用方法

1. 準備

以下の①～④を準備してください。

①炭酸飲料用のペットボトル（200mlなど、一気に飲み切れる容量のペットボトル推奨）

* ミネラルウォーター等の肉厚の薄いペットボトルは破裂する恐れがありますのでご使用にならないでください。

②ハイドロキャップ

③ハイドロポッド

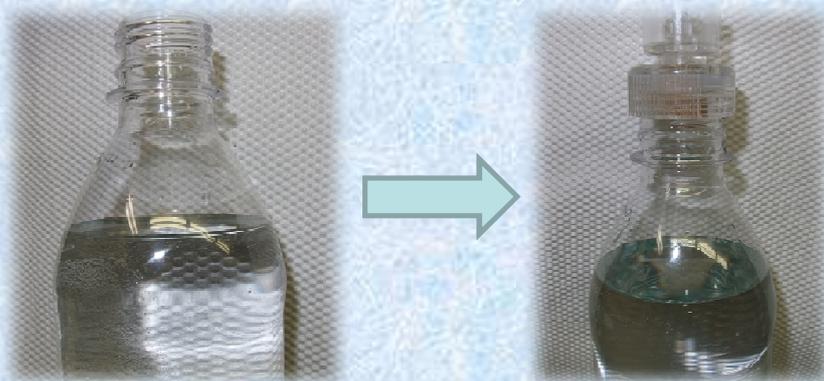
④マノ（圧力計）

2. 水素注入

1) マノを使用し、ハイドロポッドの圧力が室温環境下で300～500Kpa程度であることを確認してください。再充填直後で600Kpaを超える場合、ペットボトルによっては破裂する恐れがありますので、ハイドロキャップをハイドロポッドのアダプターに一瞬押し付け、ベントしてからご使用ください。



2) ペットボトルに、下記の写真程度まで飲み物を注ぎ、ハイドロキャップを軽く締めて取り付けてください。（市販の状態から一口か二口飲んだ状態）



ご使用方法

3) ペットボトルを下写真のように指でつぶして、内部の空気を完全に排出した状態でキャップをしっかり締めてください。つぶれない場合は、キャップを少し緩めながらつぶしてください。



この空気がなくなるまでつぶす



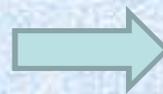
4) 逆にするなどして、内部に空気が残存していないことを確認してください。ペットボトルは下写真のようにつぶれた状態となります。



5) ハイドロポッドのアダプター部にハイドロキャップを押し込むと数秒程度で充填が完了します。充填時の向きや姿勢は任意です。
*

HydroPod10L

HydroPod50L



*Podの水素残量が減るにつれ、充填時間は長くなります。

ご使用方法

6) ハイドロポッドからハイドロキャップを離し、ペットボトルがパンパンになっていることを確認したら、15秒以上激しく振ってください。

激しく振る



7) キャップを外しすぐにお飲みください。ペットボトル内の水素ガスも一緒に、一気に飲み切ることを推奨します。

一度キャップを緩めると、溶存水素量は時間と共に低下致しますので、早めにお飲みください。またキャップを締めていても、徐々に水素は抜けていきます。



※キャップ開放とともに水素が排出されますので、キャップを外す前に、周囲に火の元がないことを十分に確認してください。引火する恐れがありますので、静電気等にも十分注意してください。

8) ご使用後は、ハイドロキャップのペットボトル側をよく水ですすいだ後、風通しの良い場所で十分に乾燥させてください。ハイドロキャップのパッキンはペットボトルの飲み口と接触するため、口内細菌が付着し繁殖する場合がありますので、一週間に一回程度、取外して除菌洗浄してください。

* ミニポッド等、容量の小さいハイドロポッドを使用する場合、連続して水素充填を行うと、圧力が低下し溶存水素量も低下します。十分な間隔をおいて充填を行ってください。また水素の消費に伴い、圧力が低下し、溶存水素量も低下しますので、溶存水素量を正確に管理したい場合は、別売りのマノ（圧力計）を使用し、充填前に圧力を確認するようお願いいたします。

* ペットボトルを繰り返し使用する場合は、都度、飲み口を除菌洗浄し十分に乾燥させてください。除菌を行わないと雑菌が繁殖し大変不衛生です。

* 飲みかけの飲み物に再度充填することも可能ですが、水素の消費量が大幅に増えるため、不経済です。飲料を再充填して、ペットボトル内の飲料が8分目以上の状態で注入を行うよう心がけてください。

* ペットボトル内の飲料が、より多い状態（例えば市販の状態）で水素を充填すると、水素の消費を抑えることができるため、より多くのペットボトルに水素を充填することができます。ただしシェイク時に水素が飲料全体に行き渡り難くなり、所望の溶存水素濃度に達しなくなる可能性がありますのでご周知ください。この場合、シェイク時間を長めに取ると改善される場合があります。

* ハイドロポッドの圧力が高いほど溶存水素量は増加します。通常一度の充填で、溶存水素濃度は1.3ppm(ガスクロマトグラフ法),大凡3.0ppm(Miz社の呈色反応試薬)となります。更に高濃度の水素水をご所望の場合は、十分な間隔をおいて充填を繰り返してください。3回繰り返すと1.6ppm(ガスクロマトグラフ法),大凡4.0ppm(Miz社の呈色反応試薬)に達します。

* 水素供給側の圧力が200kpa程度の場合、溶存水素濃度は0.7ppm(Miz社2.0ppm)程度となります。

★ギャランティーカードは再発行しませんので大切に保管してください。

*ギャランティーカードは、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってギャランティーカードによってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

<保証期間が過ぎているときには>

●修理によって商品の機能が維持できる場合、補修用部品の保有期間内であれば、ご希望により有料で修理させていただきます。

<保証とアフターサービスについて>

●保証は本製品を購入された方のみ適用されます。保証期間はご購入日から1年間です。

<無料修理規定>

●保証期間内に本取扱説明書ならびにウェブ上の“caution”に従った正常な使用状態で故障した場合には無料修理いたします。

●保証期間内でも次の場合は有料修理になります。

- ①使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- ②お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び破損。
- ③火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や取扱不備による故障及び破損。
- ④本書の指示に反する場合。